

# 当救命救急センターにおける緊急入院患者の転帰／退院先決定及び臨床経過に影響を及ぼす因子の探索に関する研究

2025年 4月4日作成

## 1. 研究の対象

2020年1月1日以降に当院に緊急入院治療を受けた方

## 2. 研究目的・方法

高齢化が進むにつれ、救急入院患者における高齢者の割合は増加し、急性期の状態を脱したとしても、自宅退院が困難となることがあります。その結果、入院患者の転床・転院が停滞する「出口問題」が、近年の救急医療における課題となっています。一方で、医療や介護サービスには地域格差が存在することから、各地域における「出口問題」に関する検討が必要であるとされています。そのため、当医療圏における、緊急入院患者の転帰／退院先決定にかかわる因子を明らかにするために、年齢や性別、基礎疾患、家族構成などの対象者背景や入院の原因疾患・併存疾患・リハビリ・治療方法・社会調整が、入院患者の経過や転帰／退院先決定にどのように影響を及ぼしているのかを調べます。

救命救急センターに入院する患者の臨床経過や退院時の状況を分析することで、入退院支援や病棟でのケア・病棟運営の在り方を見出すことを目標としています。

当院で下記3. 研究に用いる情報の種類について収集させていただきます。情報は個人情報がない状態でデータ格納されます。これらの情報に関し、当院の救急科研究室において解析させていただきます。また、このデータに格納された情報は将来他の研究のために利用・第三者に提供される可能性があります。

研究期間は2028年3月31日までを予定しています。

## 3. 研究に用いる情報の種類

- ・年齢、性別、既往歴、薬歴、家族歴、介護度、家族構成などの生活習慣・状況
- ・入院中の病名、診療科
- ・治療の内容（手術の有無、人工呼吸器使用の有無と期間、リハビリなど）、入院経過（合併症の有無、退院までの期間など）、生存期間、入院病棟、退院先

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の提供者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉県木更津市桜井 1010 国保直営総合君津中央病院 救急科

医師 島田忠長

0439-36-1071